

よろこび

2022.11.20 第135号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



雲然 俊美 先生

他を助ける教師の交わり

奥羽教区 秋田桜教会牧師 雲然 俊美

「お言葉どおり、この身に」
第42回教団総会で教団総会
議長に選出されました雲然
(くもしかり)と申します。

これまで5期12年教団書記
を務めましたが、また新たな
務めが与えられるとは思つて
いませんでした。もちろん、
自分に議長の務めを担うだけ
の力が無いことは重々承知し
ております。けれども、天使
のお告げを聞いたマリアが、
「お言葉どおり、この身に成

りますように。」(ルカ2・
38)と、受け身でありつつ、
きわめて前向き(能動的)に神
さまの召しに聞き従つた姿に
学び、お引き受けいたしまし
た。

〈他を助ける教会として〉

伝道者として駆け出しの
頃、多くの隠退教師の方たち
との出会いが与えられました。
それは本当に幸いなこと
でした。その中の一人の教師
からは、教会がキリストの体
なる教会として立つことの意
味について深く教えていただき
ました。

それから、このように教え
てくださったのです。「教規
には、現住陪餐会員がおおむ
ね20名以上で第二種教会、お
おむね50名以上で第一種教会
とある。これは、第二種教会
は自給・自立している教会で
あるということ、第一種教会
は自給・自立しているということ
だけでなく、他を助ける

私は、神学校を卒業後、秋
田橋山教会の副牧師として招
かれ、着任から4年半後に、
同教会が創立百周年記念事業

として始めた開拓伝道の教会
(当時は伝道所)に着任しまし
た。その時、ある隠退された
教師がこのように励ましてく
ださいました。「今は伝道所
だけれども、早く第二種教会
を設立するように。そして、
第一種教会の建設を目指すよ
うに。」

である。

大変申し訳ないことに、そ

れから34年経た今も、教会は
第二種教会のままです。けれども、「教会は、他を支え、
助けてこそ教会である」との
教えを片時も忘れたことはあ
りませんし、今もそのような
教会を目指しています。

〈他を助ける教師として〉

今、私は、その隠退教師の
言葉を思い起こす時、それは
教会に対してだけでおられた
教師についても言つておられた
のだと、いつも思っています。
教師は自分が立つだけでなく、教
師であることを思つておられた
教師であるということです。

教団年金の収入の多くは、
年金に加入している現職教師
の掛金収入です。つまり、現
職の教師と教会が、隠退され
た教師の方たちを支えている
ということです。そして、隠
退された教師の方たちは、現
職の教師と教会の働きを覚え
て祈つて支えてくださつてい
るとの信仰によるものです。

ます。

〈キリストの体なる教会〉

教団においては、教勢の低
下傾向が長く続いています。
特に、地方の小規模教会にお
いては、その存続すら危ぶま
れる状況にあります。しかし、
少人数の礼拝であつても、そ
こに集う一人ひとりは、福音

の喜びに満たされ、声高らか
に主を賛美し、希望を携えて
日常の生活の場へと遣わされ
ています。

そのことを思う時、キリストの体である教団は、厳しい
状況の中にある教会を常に覚
え、その存在を喜び、そのよ
うな教会と共に立ち続けるこ
との意義を確認する全体教会
でありたいと願います。

〈神を喜びたたえる交わり〉

教団年金局は、教師が互い
に支え合うために大事な役割
を担つています。それはいわ
ゆる「助け合いの精神」でな
されているのではなく、教団
がキリストの体なる教会であ
るとの信仰によるものです。

教会が共に立ち、それぞれの

教会に仕える教師たちを、信
仰をもつて支え、助けるため
に年金局の働きが進められて
います。

天使のお告げに驚いたマリ
アは、神さまが自分に「目を
留めてください」とことを感
謝し、「神を喜びたたえ」ま

（くもしかり としみ）

した（ルカ2・47）。これか

らも、この機関紙『よろこび』
によつて、共に神を喜びたた
える交わりが深められ、他を
助ける教師および教会の歩み
が続けられて行くことを願つ
ています。

（くもしかり としみ）

全教区推進協議会の開催のご報告

推進委員会事務局長 山田 昌人

2022年10月7日(金)、ただきました。

開会礼拝(説教秋山総幹事)

に始まり、事業報告・決算報

告・今年度計画、教団年金の

近況(中川年金局理事長)と統

き、全体協議で推進委員・推

進員の活動報告や課題・提案

などを語り共有しました。

予定時間を過ぎ、閉会祈祷

を以つて閉会しました。

参加されたお二人から文章

100円献金

扱い手の高齢化

南支区推進員 砂塚 秀子

10月の初旬というのに厚

手の上着を羽織り、冷たい雨の日にキリスト教会

館会議室に向かいました。

全国の「隠退教師を支える運動」推進委員・推進員が集まりZoomの参加者と共に会議が行われました。

「この恵みの業を」と題した説教は、コリントの信徒への手紙二8・1~9からマケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて話されました。「聖なる者たちを助けるための恵みの業と奉仕に参加させてほしいと願い出した」「この恵みの業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるよう」「この聖書の箇所に私たちが行つている100円献金運動と重ねて、今一度力を



(すなづか ひでこ／碑文谷教会)

全教区推進協議会に

参加して

推進委員 須田 静代

三年振りの対面での協議会は、顔が見え表情からも思

頂き、励ましを頂いたような気がします。

現在100円献金の教会 参加率は56%です。今悩んでいることは長い間この運動を担つて来られた方々の

高齢化です。後継者が与えられることを祈っています。

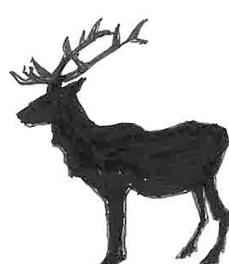
伝道に牧会にと生涯を捧げられた牧師先生方を思い、

100円献金運動を恵みの業として途切れることなく伝え続けていけることを切に願います。



開会礼拝で「神さまから受けたものを他の人のために与えるという、主が私たちのために下さった恵みの業なのです。」とメッセージをいたしました。参加者が少しでも増えるよう、いただいた恵みを用いて努力し、導き支えて下さいといを新たにしました。最後にはいつも「『隠退教師を支える運動』私たちのビヨン」を唱和して決意を新

たにしました。信徒の方々が共有し、同じ思いで一人でも多く参加してくださることを願い祈っています。
(すだ しづよ／名古屋中央教会)



業務室より

一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

12月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2022年度第3期分給付

(2022年10・11・12月分)

送金日 2022年12月9日(金)

期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2023年4月10日(月)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆10月7日の定例給付日には、退職年金1
億802万円を710名の受給者にお送りいたしました。

☆「教団新報・年金特集」(No.76)を同封します。年金局ならびに「隠退教師を支える運動」の2021年度決算報告を掲載しております。ご覧ください。

なお、『隠退教師近況』の欄、教師名の前に記載すべき「()内は最終任地の教区教会名です。」という文章が印刷所の手違いで欠落してしまいました。お詫びし、訂正させていただきます。

☆2023年1月下旬に確定申告のための計算書をお送りいたします。大切に保管し、確定申告の際にご利用ください。遺族年金受給者には送付しておりません。必要な方は年金局までご連絡ください。

☆9月27日(火)～29日(木)ホテルメトロポリタン池袋に於て、コロナ禍で延期となっていた第42回日本基督教団総会が4年ぶりに、「礼拝から愛の業へー試練の中での日本伝道の推進」を主題に開催さ

れました。議員総数400名中335名の出席で議事が開始されました。感染予防対策を充分に行い、内容も会議に集中して行われました。投票の結果、総会議長には雲然俊美牧師(秋田桜教会)、副議長には藤森勇紀牧師(富士見町教会)が選出されました。また議長、副議長より、書記として黒田若雄牧師(高知教会)が推薦、承認されました。この他に、常議員選挙、4年間の活動、財務報告などが行われました。今回は年金局関連の議案として、謝恩金勘定の終了に伴う謝恩金規則の廃止、隠退教師の代務者に復帰に伴う年金継続給付実施のための教規および教師退職年金等規則の変更が常議員会により上程され、承認されました。

☆今年の「謝恩日」は11月20日です。全国の教会・伝道所に献金のお願いをしています。長い年月、主の業に全力をそぞいで来られた先生と遺族の方々が隠退後に少しでも安定した毎日をお送りいただけるようにという願いから発足した教師退職年金は、全国の教会と信徒のみなさまから献げられる「謝恩日献金」と「隠退教師を支える運動100円献金」が大きな支えとなり、58年間歩んでまいりました。これからもこの制度が永続的に健全な運営が続きますようお祈りとお支えをお願いいたします。

☆11月27日から降誕節に入ります。寒い季節を迎え、新型コロナウィルスとインフルエンザの同時流行が心配されています。みなさまの健康が守られ、主のご降誕を待ち望む、穏やかな時を過ごされますようお祈りしております。(村山めぐみ)

日本基督教団年金局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel:03(3202)2080 / Fax:03(3202)2081
mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel:03(3232)8005 / Fax:03(3202)2081
mail:sasae100@uccj.org